

# 農業委員会だより

## 森田富雄さん（北橋町上箱田）が 群馬県農業振興船津賞を受賞

船津伝次平翁功德顕彰会と県農業会議は、3月16日、前橋市のJ Aビルで令和2年度群馬県農業振興船津賞の授与を行い、渋川市北橋町上箱田の森田富雄さん（70）が受賞しました。

森田さんはアメリカで大規模経営を2年間学び、帰国後、シイタケ栽培を中心とした米麦・大豆の複合経営に転換しました。生産施設を自宅まわりに設置し、低コスト化栽培の実現とともに、ホダ場の敷ワラの方法を工夫し、四方は軽く風通しの良い麻袋で囲い、スプリンクラーを活用した気象環境の影響を受けにくい育成技術を研究し、40年かけて高度な栽培体系を確立しました。この賞は、本県勢多郡富士見村出身の船津伝次平翁の功徳を顕彰するため、昭和35年から先駆的な農業技術などを通じて農村の振興発展に長年貢献した者を毎年表彰するもので、本県の農業ノーベル賞とも称されています。



## 新規就農者の紹介

萩原 秀人さん（赤城町勝保沢）

赤城町勝保沢の萩原秀人さん（46）は、令和2年11月に新規就農者に認定されました。萩原さんは、就農前に勤務していた会社で、農家の方と話したり、ふれあうなかで農業に対して興味を持ち、一生の仕事にしたいと思うようになりました。その後、種苗会社に転職し農業の技術や栽培管理を学び、ナス農家において露地野菜栽培から出荷までの経験と、知識を習得し、農業への熱い想いを更に募らせました。

妻の実家が養豚とさくらんぼを栽培している農家で、その畑を両親の代で終わらせたくないという想いも重なって就農することを決意しました。作付け作物は、夏から秋がメインのナスで、冬から春にブロッコリーとアレッタです。今後はズッキーニの栽培も予定しています。主な出荷先はJ Aと直売所となっています。

耕作面積は8×9反で、そのほとんどの作業を一人でこなしているため、早朝から作業しても忙しく、出荷に間に合わせるが大変だそうです。しかし、自分の作った野菜が消費者に渡り、食べてもらうことが嬉しく、強いやりがいを感じているのだそうです。

就農して自身の変化も感じているようで、以前より積極的になり農家の方と話をするようになったことで、顔を覚えてもらえるようになったそうです。まわりの人に農業について分からないことなどを聞くと親切に教えてもらえて、人や地域との関わりや、つながりが大切なのだと強く感じているそうです。農業を始めたばかりで、今は目の前の仕事をこなしていくことで精一杯ですが、これから若い世代に農業を広めていきたいと、力強く語ってくれました。



ブロッコリーを収穫する萩原さん

# がんばっています！ 生産者の紹介

牛さんと一緒に幸せを育てる

石坂 恵美さん  
豊 さん(石原)

「牛さんと一緒に幸せを育てる」をテーマに黒毛和牛を育てている石坂牧場の石坂恵美さんと豊さんご夫婦。

「生まれも育ちも」ということにごだわり、母牛から子牛、肥育までを家族一丸となって、手間暇と愛情をたっぷり注ぎながら、一貫して育てています。食べやすいように綺麗に並べられ、「いのち」の見えにくくなっていく「牛肉」ではなく、「いのち」が見えるからこそ丁寧に扱われ、感謝されながら皆様のお肉を目指しています。特に子どもたちには良質なお肉をたくさん食べてほしいと思いつつ、日々育てています。



牛舎の前で牛さんと一緒に

# 令和3年度 農地等利用最適化推進 に関する意見書を提出

渋川市の基幹産業である農業が、魅力ある産業として維持・発展を遂げていくことができるよう、農業委員会として農地等の利用の最適化を効果的かつ効果的に実施するため、令和3年度を迎えるにあたり、令和2年10月16日、必要な施策の改善等について市長への意見書を提出しました。内容について要点を以下に掲載します。

## 1 農地の集積・集約化の推進のための担い手育成について

当市の農地集積・集約化は、担い手となる認定農業者及び営農組織等が不足しており、なかなか進まないのが現状です。引き続き、明日の渋川市の農業を継承し、農地を守る担い手の育成について尽力を図るようお願いいたします。

## 2 耕作放棄地の発生防止・解消について

中山間地で耕作不向きな条件不利地が多く存在する当市では、耕作放棄地が増加しております。耕作不利益等の対策に繋がる地形に適した独自の対策についてお願いいたします。

## 3 地域の営農について

自然環境等の条件に適合した作物の営農について、今まで以上にJA、農家等に協力を行い推進をお願いいたします。また、平成30年度から廃止となった直接支払交付金の再度の実施を国・県に強く要望するとともに既存補助制度では対応できない地域については、市独自の補助制度の立ち上げをお願いします。

## 4 有害鳥獣対策について

「渋川市鳥獣害対策事業」の電柵(含:アニマルネット)等の設置に係る補助金の事業対象者要件について、2戸以上の市内農家組織団体を1戸以上の市内農家とする等の条件の緩和をお願いいたします。

## 5 農林産物の安全確保と販売力の強化について

令和元年12月に策定した「渋川市農林業振興計画」での施策について、早期に達成し「渋川ブランド力」の強力な推進をお願いいたします。

- ①ブランド化の推進
- ②渋川農業のPR
- ③直売機能の拡充
- ④インターネット利用の有利販売

## 6 農業委員会委員の次期改選に向けた対策強化について

平成31年4月1日改選において、農業委員19名中、女性が6名任命となり、女性ならではの愛情と温もりを十分に発揮し活躍しています。令和4年度の次期改選において、継続した関係農業者団体及び地域農業者等との連絡調整の強化を図り、女性登用について現状維持以上の任命となるよう特段の配慮をお願いいたします。

## 7 農業委員会事務局体制の強化について

法律改正等により農地利用最適化事業に係る農業委員会業務が増加しております。業務に精通した職員を含め充実強化をお願いいたします。



高木市長(右)に意見書を手渡す山本会長(左)



# 遊休農地解消の取り組み

## ■農地利用状況調査の実施

法律に基づいて毎年7月から9月にかけて、農業委員と農地利用最適化推進委員が協力連携のもと各担当地域の農地利用の確認、遊休農地の発生防止と早期発見を目的に、農地の利用状況調査を実施しています。

## ■利用意向調査の実施

利用状況調査の結果、遊休農地又は遊休化のおそれがある農地と判定された農地の所有者に対して、10月から推進委員等が農地の所有者等を訪問して、今後の利用意向についてお伺いします。

## ■非農地判定の実施

再生困難な状態まで荒廃した農地については、10月から再度

表 令和2年度の農地利用状況

耕作面積	農地集積面積
3,930 ha	790 ha
遊休農地面積	遊休農地解消面積
235 ha	△31 ha



農地パトロールをする農業委員、農地利用最適化推進委員

現地調査を行い、非農地判定の手続きを行っています。

## ■農地貸借のマッチングの実施

利用意向調査の結果に基づき、農地の貸し手と借り手のマッチング活動を実施しています。

各種調査では、農業委員・推進委員が土地所有者及び担い手農家を訪問することもありますので、ご理解ご協力をお願いします。

# 農地転用には許可が必要です

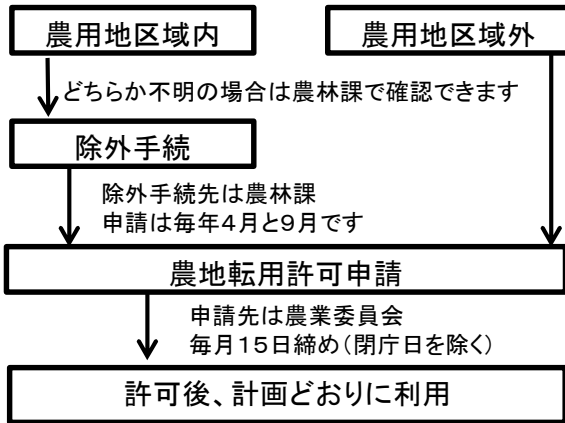
## ■無断転用は法令違反です

農地に住宅を建てる、資材置場や駐車場、太陽光発電施設にするなどの農地転用には許可が必要です。無許可で転用した場合は、元に戻していただくこととなります。また、転用できない農地もありますので、事前に必ず農業委員会事務局までご相談ください。

## ■農地転用を申請する前に

農用地区域内の農地は、転用することができません。転用を希望する場合は、農用地区域からの除外手続を行い、認められから転用申請となります。詳しくは農林課（☎2593）へ。

## 「転用手続の流れ」



## ■一時転用や農地改良も申請を

農地を一時的に資材置場にしたり、農地を使いやすい農地にする改良工事も許可が必要です。



違反転用防止啓発看板  
(赤城町津久田地内)

## 未相続のままの農地がありませんか？

■未相続のままにしておくこと相続権が増えて、登記に多大な時間と経費がかかることがあります。早めに法務局で相続登記をしましょう。併せて、農業委員会に届出をしてください。

## 「利用権設定」で農地の貸し借りを

■利用権設定は、耕作を目的とした農地の貸借方法です。貸借期間満了後は自動で農地が所有者に戻るため、安心して貸し出すことができます。

豊かな老後の支えに

# 農業者年金

60歳  
未満

国民年金  
第1号  
被保険者

年60日  
以上  
農業従事

この3つを満たせば  
どなたでも加入できます！

国民年金付加保険料  
月400円  
の納付も必要です。

- 1 国民年金に上積みする公的年金制度で、生涯受給できます。
- 2 積立てた保険料とその運用益で年金額が決まる確定拠出型です。
- 3 保険料は2万円～6万7千円から選べ、途中の見直しも可能です。
- 4 保険料は全額社会保険料控除の対象となる税制優遇があります。

詳しくは、JA窓口か農業委員会事務局へ

- ・ 家族経営協定の効果
- ・ 家族員の経営参画の促進
- ・ 農業経営の発展
- ・ 農業後継者の確保・育成
- ・ 女性・高齢者に対する適正な評価

家族経営協定とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家庭などが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき取り決めるものです。



家族経営協定で  
農家も働き方改革！

## 家族経営協定を結びましょう

## 農業委員・推進委員紹介

※(任期:平成31年4月1日から令和4年3月31日)

### 農業委員

NO	地区	氏名
1	洪川	岸 正二
2		青木 明雄
3		大島 アサ子
4		高橋 昭彦
5	伊香保	眞下 謹司
6	小野上	野村 隆
7	子持	斉藤 美保
8		飯塚 敬子
9		山本 彰一郎
10	赤城	角田 壽一
11		須田 和敏
12		高井 眞佐実
13		新井 正喜
14		鳥山 孝子
15	齊藤 由香	
16	北橘	星野 安久
17		下田 三徳
18		石田 玉枝
19	※	廣瀬 淳

※農業委員会の所掌に属する事項に  
利害関係を有しない委員(中立委員)

### 農地利用最適化推進委員

NO	地区	氏名
1	洪川	齋藤 光男
2		設楽 秀夫
3		都丸 政義
4		狩野 武
5		木村 克己
6		鈴木 孝明
7		登坂 勇
8		高橋 政守
9		俣田 英昭
10		伊香保
11	小野上	吉沢 良一
12		佐藤 繁巳
13	子持	八高 範夫
14		生方 通展
15		千明 幸雄
16		阿部 正雄
17		津久井 一美
18		阿久津 孝雄
19		小野 丈夫
20		飯塚 源一
21	赤城	岩崎 雅信
22	赤城	狩野 邦久
23		永井 重雄
24		茂木 幸雄
25		狩野 幸市
26		石田 初男
27		須田 清
28		内山 光司
29		生方 徳時
30		新井 健二
31		南雲 昇三
32	北橘	角田 正規
33		鳥山 正章
34		永井 五平
35		津久井 利章
36		青木 歳行
37		今井 銀造
38		爲谷 賢司
39		楯 喜久男
40		奈良 嘉祐
41		高梨 兼秀
42	高橋 正次	

購読しませんか



全国農業新聞は農業委員会の系統組織が発行する“農家のための農業専門紙”です。週刊の特長を生かしたわかりやすく読み応えある記事が特徴です。  
毎週金曜日発行(郵送配達)、月700円(送料・税込み)。申込は農業委員、農地利用最適化推進委員まで

### 〔編集後記〕

新型コロナウイルスの感染拡大は瞬く間に私たちの生活を劇的に変えてしまいました。このコロナ禍で新しい生活様式等を取り入れ、皆様の無事を祈り、今できる感染対策を講じていきたいものです。(眞)